年次大会に参加する意義

西谷 要介*

インターネットやSNSなどのソーシャルメディアが広く普及し、情報過多の時代と言われるようになって久しい。皆様はどのように情報の取捨選択を行っているのだろうか？私自身はいつの間にかスマートフォンなどの情報端末を操作し、勝手に(?)選ばれた自分にとって興味ある、または心地よい情報のみを日々得て、何ら取捨選択しなくなったような気がして仕方がない。最近心地よくない情報が目にとまり、それに何か問題あれば、ソーシャルメディアやマスメディアを中心に、よってたかつての劇場型の集中バッシングに発展してしまっていることが多くなっている。もちろん、バッシングされても仕方がない問題が多いのも事実なのであるが、誤った情報や重箱の隅をつつくようなことばかりが目立つように感じている。社会の変化が急激に速くなり、情報量が急激に増した現在、適切に必要な情報を、情報端末を駆使しながら選択できる力が尚更強く求められており、とりわけ情報リテラシーはもちろんのこと、正しい倫理観を身につける必要性が益々高まっていると思う。

一昔前までは情報は限られた従来のマスメディアや雑誌・書籍などから得るしかなかったが、本当に必要とされる情報を探し出す力は、色々な学習や体験、特に異文化交流や他者との関わりなどを通してしか身につかないと言われていた。信用信頼を第一とする技術者として、研究・開発などを進めるためには、一昔のような情報収集が一層求められている。このような経験を積める一つの機会として学会活動、特に大会への参加が挙げられる。年次大会などに参加することは、新しい生きた情報の収集やその場にいる専門家達のコメントをベースに、自ら考え情報選択をする場であるだけでなく、科学技術に関するリテラシーはもちろんのこと、他者との交流を通して様々な経験を学べる貴重な場であろう。

自分の経験談となるが、研究発表のデビュー戦は修士課程1年の成形加工'96(中央大駿河台記念館)であった、発表中に頭が真っ白になった記憶も強く残っているが、他大学の偉い先生方や企業の方から温かい叱咤激励を頂いたことを、今でも鮮明に覚えている。その後も継続して発表したが、情報収集と取捨選択は参加するごと磨かれていっ

たが、その後は、年次大会実行委員をはじめ、企画委員、編集委員、理事、そして30周年記念事業委員として学会運営に関わらせて頂き、とても有意義な経験を通して大きく成長させて頂いたものと深く感謝している。特に、色々な方々との出会いを通じて、様々な考え方や方法を目の当たりにすることができ、また有益な情報を収集できたり、さらには共同研究に発展する機会を頂いたりして、情報収集と情報提供を通じて、貴重な経験を積むことができたことが、何よりもの財産になっていると実感している。このような経験を多くの会員の方々にも味わっていただけたら学会の意義が実感できるのではと考えている。

今後はIoT, AI, ビックデータの活用などの本格的な超情報化時代を迎え、特にSociety 5.0と呼ばれるサイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムの実現により、成形加工分野においても、新しいものづくりの形が創出されるかもしれない。また年次大会においても、プレゼンテーションの方法が一新され、また新たなコミュニケーションツールなどが出現することで、現在とは異なる形式になっていくことであろう。しかしながら、そのような状況においても、学会員の方々がより一層楽しめ、かつ有益な情報収集と選択ができ、また、人とのつながりが深められる学会や大会であることに意義がある。佐藤勲会長のもと理事会や各種委員会などが協力して運営を進めていければと考えている。皆様のご支援とご協力の程、宜しくお願い申し上げます次第である。

さて、本誌は第29回年次大会特集号である。過去最大の参加者数を集め、盛大に開催された大会の様子が手に取るように蘇ってくる記事が満載である。詳細は本誌の各記事に記載されているのでここでは省略するが、本大会が成功したのも、特別講演をお引き受け頂いた日本の成形加工分野を代表する先生方はもちろんのこと、年次大会に参加して頂いた学会員の方々、また30周年記念事業に参加して頂いた方々、さらには小林博行年次大会実行委員長をはじめとした実行委員および運営支援委員、そして横井秀俊委員長をはじめとした30周年記念事業実施委員、理事や学会事務局などの関係者の方々のご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。

Significance of Participating in Seikei-Kakou Annual Meetings

* Nishitani, Yosuke

工学院大学 工学部 機械工学科

八王子市中野町 2665-1 (〒192-0015)

at13152@ns.kogakuin.ac.jp

2018.8.22 受理